

令和5年度消防研究センター等の一般公開(開催報告)

消防研究センター

東京都調布市の同じ敷地内に位置する消防研究センター、消防大学校、日本消防検定協会及び一般財団法人消防防災科学センターにおいて、4月に一般公開を開催しました。

この一般公開は、科学技術週間（「発明の日」（4月18日）を含む週）に実施しているもので、今回は、4年ぶりの実開催（敷地内の施設の公開や実演等、4月21日（金）に実施）と、令和3年度に初めて行ったオンライン開催（4月14日（金）～4月24日（月））を併せて実施しました。実開催では約440人が来場され、研究官から直接研究内容の説明を受けられたほか、実演も見学されました。また、ホームページのオンライン開催のページ（実開催の案内を含む）へのアクセス数は、令和4年度よりも約470件増え、約4,300件となりました。

実開催では20項目を公開し、オンライン開催では54動画を配信しましたが、ここでは実開催における消防研究センター関連項目の一部について紹介します。

なお、消防研究センターホームページには、一般公開で配信した動画の一部や研究開発等に関する様々な動画を掲載していますので、是非ご覧ください。

(URL :

https://nrifd.fdma.go.jp/public_info/library/kenkyu_kaihatsu/index.html)



〔動画ページの二次元バーコード〕

1 救急車・指揮車用パンク対応タイヤの紹介(実開催)

救急車や指揮車向けに開発した、パンクしても走行可能なタイヤを紹介しました。



写真1 救急車・指揮車用パンク対応タイヤの展示

2 小型模型を使用した爆発実験(実開催)

引火点の低い可燃性液体（エタノール）や液化石油ガスを小型の密閉容器内で気化させることによって容器内を可燃性予混合気で満たした後、可燃性予混合気に着火することにより、火炎の伝ばする様子を示す実験を行いました。



写真2 小型模型を使用した爆発実験

3 自然災害に対する消防活動のための研究開発の紹介(実開催)

地震時の同時多発火災への対応に役立てるための市街地火災延焼シミュレーションの開発(写真3-1)、土砂災害現場の捜索・救助活動の安全を確保するための研究(写真3-2、3-3)などについて紹介しました。

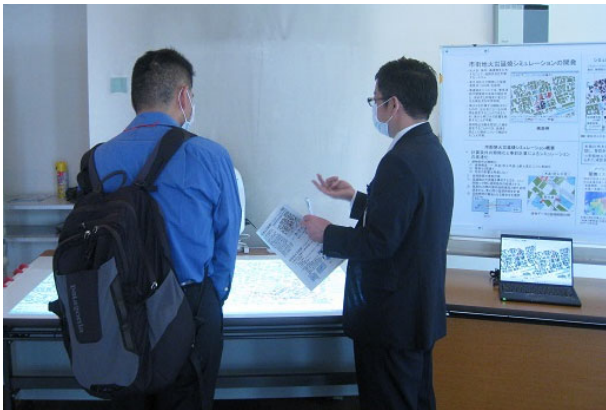


写真3-1 市街地火災延焼シミュレーションの研究紹介



写真3-2 情報収集分析車
(土砂災害等の災害時に現地で情報収集分析に利用)の展示

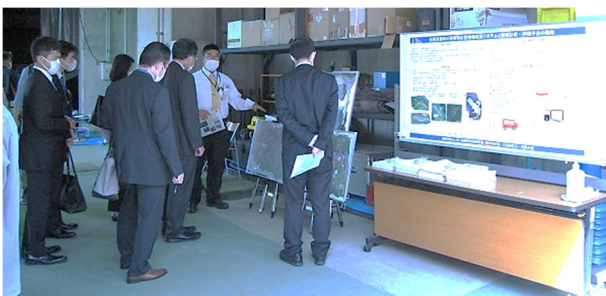


写真3-3 日中・夜間におけるドローンレーザー実証試験の紹介

4 建築火災の避難安全の研究紹介(実開催)

大規模施設などの多数の在館者が存在する施設において火災が発生した際の避難行動や安全性に関する研究を紹介しました。

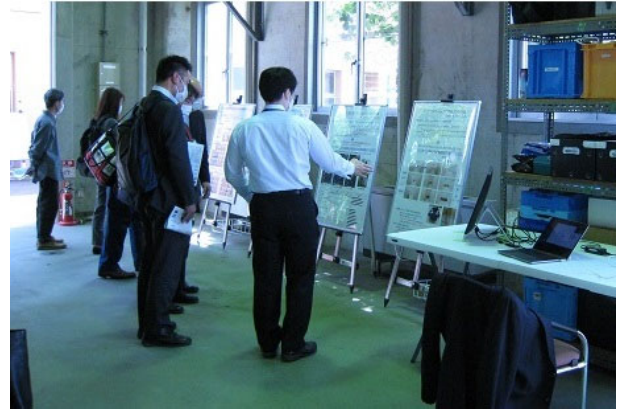


写真4 建築火災の避難安全の研究紹介

5 原因調査室の業務の紹介(実開催)

原因調査室の調査業務、研修業務、支援業務について鑑識室において紹介しました。



写真5 原因調査室の業務の紹介(鑑識室)

6 オンライン開催画面

オンライン開催については、消防研究センターホームページに次のような画面を設けて実施しました。



図 一般公開オンライン開催画面（一部）

来年度も科学技術週間に併せて一般公開を開催する予定ですので、開催の詳細については消防研究センターのホームページ

(<https://nrifd.fdma.go.jp/index.html>)

をご確認ください。

問合せ先 消防庁消防研究センター TEL:0422-44-8331（代表）